

## 婦人会の役割について

武村妃呂子

**【問】** 町の将来像を表す第4次総合計画の策定までは婦人会代表も参画し、意見を述べてきました。

しかし、町長が就任された以降、大町町まち・ひと・しごと創生推進会議や第5次総合計画を作成する大町町総合開発審議会には、婦人会には声すらかけてもありません。なぜなのでしょう。

今後のまちづくりの方向性を示す大きな計画作成などで、婦人会の参画や意見をとり入れることは考えていないのですか。

**【答】** まず、平成27年度に設置しました大町町まち・ひと・しごと創生推進会議は、要綱に則り委員20名以内で組織することになっています。内訳として、産業界関係5名、教育関係2名、金融機関1名、町議会議員4名、住民で組織する団体の代表者2名、その他町長

が必要と認める者5名の計19名で、このうち女性5名を入れた構成となっていました。

次に、令和2年度の総合開発審議会の委員については、大町町まち・ひと・しごと創生総合戦略との整合性など、密接にかかわっていかねばならないことから、大町町まち・ひと・しごと創生推進会議の委員の中から引き続きお願いすることとし、女性4名を含む、委員14名を選任したものです。

いずれも、要綱、条例に沿ったものであり、委員の皆さんには、ご苦労と適切なご提案をいただいたものと、改めて感謝の意を表させていただきますと思います。

今後、特定の団体にとらわれることなく、その時々趣旨、目的などを踏まえて、総合的に助案して判断したいと思えます。

**【問】** 婦人会は戦後の混乱期の昭和22年に設立され、

今年75年になります。その間、歴代の会長からのバトンをつなぎ、自分たちの暮らす身近な課題に取り組み、福祉、環境、経済、教育、防災などさまざまな分野で活動してきました。純粋なボランティア団体であることを認識していただきたく質問しましたが、ご理解いただくことができれば残念に思います。今しばらくは支えてくださる町民の人たちのために活動させていただきます。



▲ふるさと大町納涼まつりで盆踊りを踊る婦人会

## 部活動の地域移行について

藤瀬 都子

**【問】** 働き方改革の一環として国は、休日の文化部・体育部の指導を地域や民間団体に委ねる方針を発表しましたが、大町町は一部で取り組まれているように思いますが進捗状況をお願いします。

先日の県中学校総体の地区大会で、ひじり学園は卓球が男女とも優勝、軟式野球・サッカーが第3位と頑張っています。行政と学校と連携して地域の支援を取り入れて、文化部・体育部の子どもたちが活躍するのを期待したいと思います。



▲杵島武雄地区中学校総合体育大会で優勝した卓球男女

